

七草は尾花の寺だ。

先程の丁字路に戻り、布袋様の道標に導かれて左、そして右に曲がり、交通量の多い道路を横断する。三叉路を右に曲がると尊源寺に出る。

尊源寺本堂は内部の回廊がらせん状になっていてさざえ堂とも呼ばれている。日本三大さざえ堂（埼玉県児玉町の成身院、会津若松市の正宗寺）の中で最大とのこと、木造3階で本尊を3巡するとご利益があるそうだ。

山門の御砂踏参道の踏み石は、西国・坂東・秩父の百観音のお砂を敷き詰めたので、石畳を歩く事で御利益があるそうだ。

文永3年（1187）新田重公の創建で、七福神は布袋尊、家内安全の神様で、秋の七草は女郎花の寺だ。

元来た道に戻り、神明宮の十字路にある道標で王厳寺に進む。

王厳寺は右手奥の金山を背景に鬱蒼とした林の中にある。鎌倉の建長寺の王厳窟から頂いた名前だそうだ。嘉元年間（1303〜06年）創建、七福神は福祿寿で福と禄と長寿の神様で、秋の七草は藤袴の寺だ。前の道に戻り右に進み、突き当たりの県道も右に歩く。カーブして登り坂の上、

車の走行が激しいので注意が必要だ。

金山自然公園を通り過ぎると、車止めをした水道専用道路に入る。この砂利道は広く清潔で歩きやすい。アカマツ林の途中に八王子山の道標が目に入る。後日、大八王子から中八王子・小八王子と歩いてみたが、一周40分の遊歩道であらず屋があるだけで見晴らしも無い。

そのまま進むと親水公園に出る。公園付近には太田市民の水道をまかっている配水施設とらせん状になっている展望の丘がある。

東山ハイキングコースに入るには、トイレ横から小高い丘に登り屋根上を歩く。右手に野球場、左手に平和の塔があるが、真つすぐ進み受楽寺に出る。

受楽寺の本堂は焼失して立て替えられているが、正門は立派だ。七福神は大黒天で五穀豊穡・災難消滅のご利益がある。秋の七草は秋の寺だ。

寺の前の道路を横切り、山道を左回りに行くと、高山神社に出る。石段を下って太田小学校の正門の横を通り、学校行事の絵を見て楽しみながら歩く。信号を左折して歩道のある道を歩き、右折すると太田駅近くの東本町に出る。

小休止

泊まってよかった。民宿・山小屋・温泉旅館など、みなさんにすすめたい宿を、原簿用紙で新ハイキング編集部へお知らせください。

七福神めぐりと七草寺めぐりで、足と信仰の充実感を味わえることは保証できる。食は北口駅前の野沢屋のうなぎか、南口5分にある超近代的な太田市役所12階のレストランで展望を楽しみながら味わうなど、各自の好みで選べる。

（13年11月22日、12月27日、14年9月11日歩く）

《コースタイム》

太田 15分 長念寺 20分 大光院 15分
— 金龍寺 40分 あずま屋 10分 展望台
— 40分 新田神社 25分 水福寺 15分
— 尊源寺 15分 王厳寺 40分 親水公園
— 20分 受楽寺 15分 高山神社 20分 太田

《費用》

浅草 太田 東武鉄道 1030円
— 特急料金 1000円
— 拝観料 300円

《問い合わせ先》

太田市観光課 0276-47-1833

《地図》 2万5千 足利南部 上野境

2万5千 足利南部 上野境